

歴史を未来へつなぐ森林づくり

～世界文化遺産貢献の森林～

設定の目的

森林の重要性、森林と文化財とのかかわり等を普及する象徴的・総合的な拠点として、世界文化遺産の所在する地域の国有林に設定し、

- 木造文化財等の修復に必要な檜皮や木材などの資材の供給
- 木造文化財等と一体となった景観の保全
- 原皮師の養成等のためのフィールドの提供
- 木造文化財等と森林のかかわりを学習する場としての活用

などの事業の展開を目的としています。

設定箇所及び面積

1	京都市内の国有林(平成13年8月設定) 嵐山、銀閣寺山、高台寺山国有林等	713ha	} 4,779ha
2	宮島の国有林(平成13年8月設定) 宮島国有林全域	2,394ha	
3	奈良盆地周辺の国有林(平成13年12月設定) 地獄谷、野山国有林等	326ha	
4	紀伊山地の霊場と参詣道周辺の国有林(平成18年3月設定) 七里御浜、白谷山、御手洗国有林等	1,346ha	

景観保全のための森林整備

- 「古都京都の文化財」周辺の国有林
銀閣寺山、高台寺山、本山国有林等
- 「厳島神社」周辺の国有林
宮島国有林
- 「法隆寺地域の仏教建造物」周辺の国有林
野山国有林
- 「古都奈良の文化財」周辺の国有林
地獄谷国有林等
- 「紀伊山地の霊場と参詣道」周辺の国有林
三重県：七里御浜国有林

奈良県：白谷山国有林等
和歌山県：御手洗国有林等



【嵐山国有林】

もとかわし

原皮師とは

ひわたぶき
檜皮葺の材料となる檜皮を採取する人。

近年、原皮師は高齢化し、後継者が不足しています。

問い合わせ先

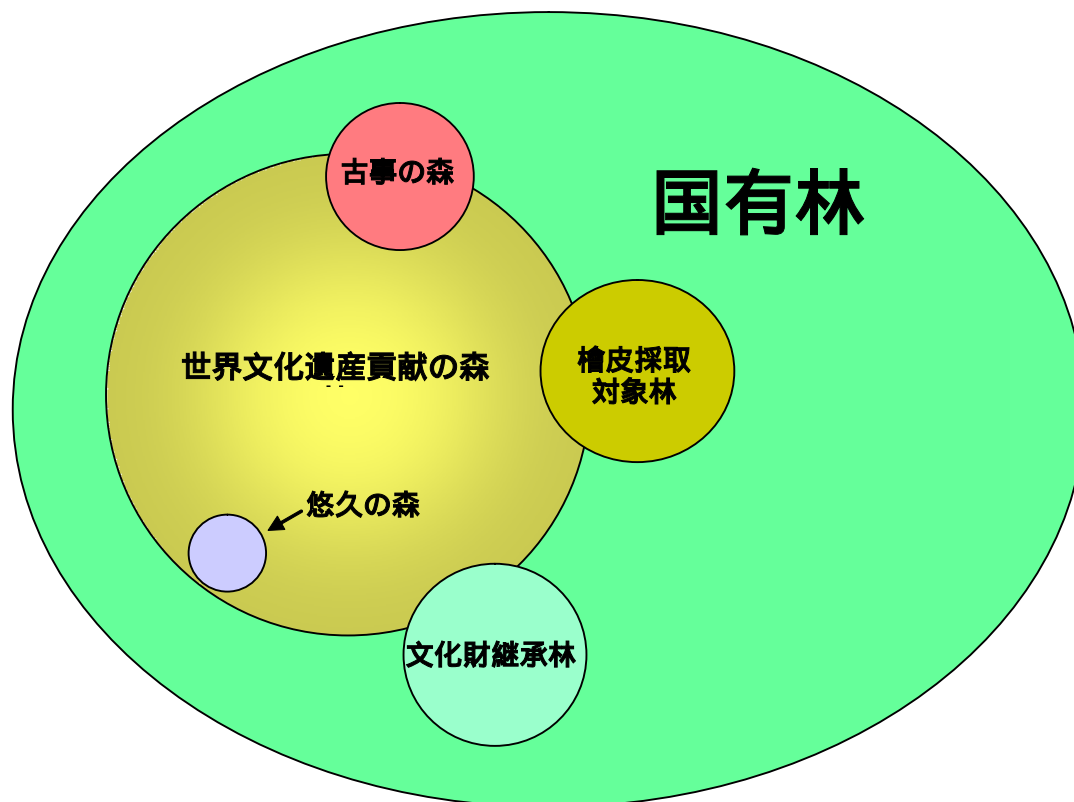
近畿中国森林管理局 計画課

担当：山口、柴田

TEL 050-3160-6739

木の文化を継承するための各種取組 (イメージ図)

近畿中国森林管理局



凡例	区分	面積等	備考
	国有林	311,000ha	官行造林地は除く。
	世界文化遺産貢献の森林	4,779ha	風致の保全、檜皮の森林、文化財用材の森林、森林と文化財の学びゾーンに区分。各ゾーンは一部重複。
	檜皮採取対象林	363ha うちヒノキ面積 (294ha)	80年生以上のヒノキ林分の中から設定。
	古事の森	4箇所 5.14ha	ヒノキ等を2百～4百年育成。
	悠久の森	1箇所 0.80ha	クスノキを4百年育成。
	文化財継承林	33箇所 102ha	ケヤキ、クスノキ、クリを設定。